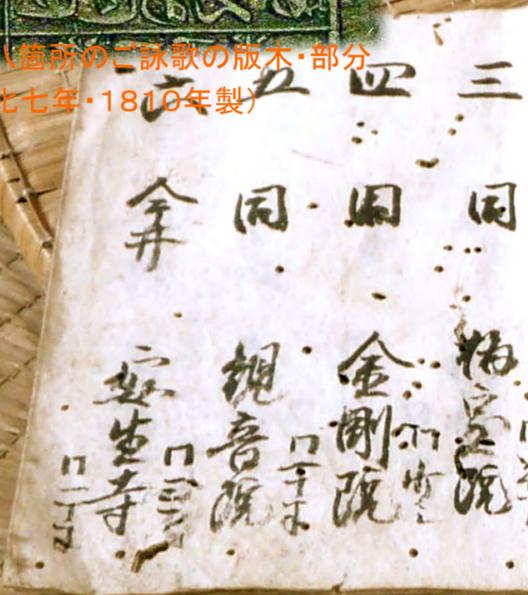




山口裕文画 福德寺(近内)



新四国八十八箇所のご詠歌の版木・部分
(文化七年・1810年製)



登録有形文化財
「藤岡家住宅」

NP0 法人うちのの館 やかた

〒637-0016

奈良県五條市近内526

☎とFAX

0747(22)4013

ホームページはうちのの館で検索

「宇智郡 吉野郡八十八箇所」
松本隋道著 文化5年(1808)

大和新四国八十八箇所展

平成二十五年十月一日(火) から十二月二十三日(月)



藤岡長兵衛像

藤岡長兵衛(延享四年・1747〜文化九年・1812)は、文化五年(1808)松本隋道師に導かれ五條の八十八寺を四国八十八箇所になぞらえて巡礼地としました。文化七年(1810)には各寺のご詠歌を版木に掘って印刷しています。八十八寺の中には現存しない寺があり、当時の五條の姿を知る貴重な手がかりでもありません。昭和三十五年に新たに定められた四国八十八箇所は、それを補うもので、江戸時代の八十八箇所とは違った寺が選ばれています。故山口裕文の版画「八十八箇所」は、昭和の八十八箇所を温もりのある筆致で描いています。今回の展示では江戸時代の巡礼の資料と共に、五條の中の四国八十八箇所をたどります。